



オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。



# 児童虐待は社会全体で解決すべき問題です

— 11月は児童虐待防止推進月間 —

問 児童福祉課 ☎ 内線1734

## ■ 児童虐待はとても身近な問題

子どもへの虐待は、連日のようにマスコミで報道され、依然として痛ましい死亡事例も後を絶たない現状です。子どもへの虐待の発生件数は増え続け、平成23年度は全国で59,919件に達し、最多件数を更新しています。牛久市でも平成24年度は53人の虐待事例が発生しています。最近では晩婚化・出産年齢の高齢化により、里帰りしたくても親が高齢で介護を受けていたり、死亡していたりするため、「身近な支援者がいない」という事例が目立ちます。子育ては誰でも最初は手さぐりで始まりますが、インターネットなどで情報収集しながら孤軍奮闘しているうちに、「いつの間にか虐待に陥っていた」という痛々しい母親も多くいました。

## ■ ひとりぼっちの親をつくらない

このように、社会情勢が複雑化する中、子育てに何らかの不安や困難を抱え、「孤育て」に苦しむ親は増えています。家族が身近な地域の中で温かく見守られ、子どもを通して地域と親がつながり、地域もさらに明るくなる、そのような地域づくりが期待されています。

## ■ 子どもを虐待から守るために

- 「虐待を受けているのではないか」と気になる子どもを発見した時には、ためらわずに行動を起こしましょう。相談や通告は下記までご連絡ください。  
※ 通告者の秘密は固く守られます。
- 地域全体で子どもを育て、家族を支えていくことが虐待の未然防止につながります。日頃から地域において「あいさつや声かけ」を積極的に行い、子育て中の家族を温かく見守りましょう。

### 相談や通告はこちらまで

- ◆ 牛久市役所児童福祉課(家庭児童相談室) ☎ 内線1734
- ◆ 土浦児童相談所 ☎ 821-4595
- ◆ いばらき虐待ホットライン(24時間対応) ☎ 0293-22-0293
- ◆ こどもホットライン ☎ 029-221-8181
- ◆ 児童相談所全国共通ダイヤル ☎ 0570-064-000

## 【虐待の種類】

### ■ 身体的虐待

殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる(赤ちゃんを激しく揺さぶらないで!)、やけどを負わせる、溺れさせる など

### ■ ネグレクト

家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、車の中に放置する、重い病気になっても病院に連れて行かない など

### ■ 心理的虐待

言葉による脅し(お前を産まなければよかった、死ぬ、消えてしまえなど)、無視、兄弟姉妹間での差別的な扱い、子どもの目の前でDV(ドメスティック・バイオレンス)を行うことなど

### ■ 性的虐待

子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にする など

## ■ 子育ては一人で悩まずに

子育て中にはさまざまな不安や心配を感じるときがあります。子育てに悩んでいるとき、子育てが「しんどい」と感じているときには一人で悩まず、下記までご相談ください。※ 相談者の秘密は固く守られます。

